

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	(43) 東京都台東区立寿児童館	指定管理者 社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間 H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区寿1-4-5 [規模] RC地上3階地下2階建 倉庫・機械室・遊戯室・図書室・事務室・図工室・集会室等 寿こどもクラブ・寿第2こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時 一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員2名、アルバイト等3名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	45,803,000	42,645,954	44,547,000	44,893,166
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	10,650	0	5,500
	計	45,803,000	42,656,604	44,547,000	44,898,666
支出	人件費	39,033,000	34,857,706	37,539,000	38,049,883
	光熱水費	2,309,000	1,368,258	2,320,000	1,340,858
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,872,000	1,270,070	2,016,000	1,813,951
	修繕費	550,000	1,681,498	500,000	1,214,137
	事業費	748,000	1,756,869	780,000	1,287,056
	その他支出	1,291,000	1,722,203	1,392,000	1,192,781
	計	45,803,000	42,656,604	44,547,000	44,898,666
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	950	1,111	700	902

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	58,000	59,510	58,690	56,895
利用登録者数	人	880	364	796	868

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

こどもクラブの利用条件に満たない共働き家庭のニーズに応えたランドセル来館事業により小学1年生の利用が増えた。また、世代別の事業・活動を実施し、乳児から中高生、保護者まで幅広く利用できる環境づくりを目指した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	常に利用者を加えた避難訓練を毎月実施するなど、緊急時への対策を実際的な水準で講じている。また、管理全般についても法令・規範を遵守して適切に実施している。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	地域との連携に加えて外部の団体と多くの協力イベントを実施している。その他についても適切な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	老朽化している箇所などを普段から把握し、本部へ報告をすることなどによってリスク低下を図っている。また、積極的に修繕することで利用者の安全性に加えて快適性も考慮した維持管理体制を敷いている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	落語、演劇の公演や野外活動などの多様な催しを実施しており、アンケートの結果でも利用者の満足度が高いことが分かる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	ガスや水道の使用をできる限り控える、クーラーボックスの活用など、日常的に省エネの意識を高めることで経費の節減に努めている。また、予算についてはほぼ適切に執行した。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】 様々な年代の利用者が児童館を活用できるよう、多様な内容の事業を実施しており、利用者数は近隣の小学校仮移転の影響があったため前年度より多少減少したものの、当初の目標を達成した。一般的に児童福祉施設として良好な運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p>